

弓削高等学校

<http://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>



弓削高校、いろんな活動、やってます！

弓削高校体験入学会開催！

7月29日(月)に弓削高等学校体験入学会を実施しました。弓削・岩城など、地元の中学校の3年生だけでなく、因島や千葉の中学校からも参加してもらい、計43名が体験入学してくれました。本校生徒が運営する体験入学実行委員会が学校紹介のスライドやPR動画を作成し、弓削高校の魅力をアピールすることができました。



全体会の後は、英語・数学・理科の授業体験を行いました。どの授業でも、教師と生徒が一緒になって授業を行い、高校での学びの面白さを伝えました。



各部の活動体験も行い、中学生に弓削高等学校の魅力を十分にアピールできた1日になりました。来年度の入学をお待ちしています。なお、当日公開したPR動画はYouTubeにも配信していますのでぜひ視聴ください。

(<https://www.youtube.com/watch?v=opG8D2Ylazo>)

Rakuten IT School NEXT 2019に参加しました！

8月9日(金)～11日(日)にRakuten IT School NEXT 2019に本校生徒が参加しました。楽天本社から担当スタッフの方にお越しいただき、「2030年 離島の働

き方」をテーマに、SDGsも絡めながら様々なグループワークを行いました。



学年という垣根を超え、最先端の技術や知識を活用して地域の課題に取り組む生徒たちは、終始笑顔で活動していました。

下宿先募集！

本校では全国募集を行っています。下宿生を受け入れても構わない方はぜひご連絡ください。

連絡先 ☎ 77-2021
(弓削高校 教頭 大塚)



弓削商船高等専門学校

<http://www.yuge.ac.jp/>



四国地区高専大会3種目団体で優勝！

地元開催で野球部18年ぶりの優勝

7月5～7日、いきなスポレク公園野球場において、四国地区高専体育大会硬式野球競技が開催されました。弓削商船チームは2日目の準決勝から出場し、新居浜高専相手に11-2(7回コールド)、決勝戦は香川高専高松と対戦し、お互い点を取り合うシーソーゲームとなりましたが、9-6で見事優勝を果たしました。地元の声援のおかげで念願の優勝を果たすことができました。



バスケットボール部念願の初V！

7月6、7日、善通寺市民体育館

で開催された高専大会において、男子バスケットボール部が念願の初優勝を成し遂げました。3高専での予選リーグを危なげなく1位で通過し、準決勝対新居浜高専を81-61、決勝対香川高専高松を82-75で競り勝ち、見事に頂点に輝きました。また、女子も準優勝と健闘しました。



個人も独占！剣道部2年ぶりのV！

7月13、14日、愛媛県武道館で開催された高専大会において、男子剣道部が見事優勝しました。昨年度、惜敗した高知高専が全国高専大会で優勝し、その悔しさを糧

に1年間稽古に励んできました。剣道競技は四国6高専リーグを実施し、初戦で高知高専と対戦し3-0で勝利し、その後も勢いに乗り全勝で全国大会の切符を手に入れました。また、女子団体も最終戦まで勝敗の行方が纏れましたが、残念ながら準優勝に終わりました。男子個人は、4つの全国出場枠を全て獲得し、8月に開催される全国大会での団体・個人での健闘を誓いました。



また、柔道部、水泳部、陸上部が個人で全国大会へ出場します。



住民の皆さんの生活に密着した事業を運営

生活環境課

こんにちは、生活環境課の河端です。

私たちの勤務する生活環境課の事務所は、せとうち交流館近くの上水道管理棟の1階にあります。

生活環境課では、住民の皆さんのライフラインである上水道施設や下水道施設の維持・管理、改修工事および生活に密着した各家庭から出るごみの処理に関する業務をはじめとする環境衛生業務、斎場の管理運営業務などに、7名の課員で取り組んでいます。

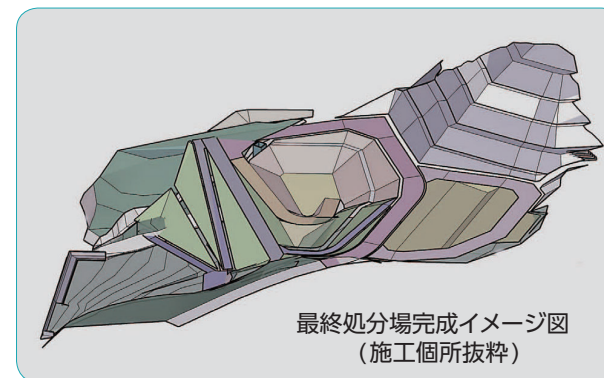
今年度の主要な事業としては、まず、佐島地区で整備を進めています「最終処分場建設工事」があります。これは、現在、佐島、生名、岩城にあります各最終処分場の残容量が少なくなり、新たな処分場の整備が必要になったため平成28年度から事業に取り組んでいます。

そして、弓削浄化センター(下水処理場)の長寿命化・耐震化工事を平成27年度から進めていて、今年度で事業完了となり、効率的な処理・維持管理

が行えるようになります。

また、農業集落排水の佐島および岩城3か所の下水処理場についても、平成29年度から令和2年度までの期間で、機能回復及び機能強化に向けた改修工事を行っています。

このように、生活に密着した事業を継続して運営し、所管施設を適切に維持管理する業務を担っています。



最終処分場完成イメージ図
(施工箇所抜粋)

島おこし協力隊活動報告

日本蜜蜂との日々

こんにちは、島おこし協力隊の西尾です。楽しい蜜蜂ライフを送っています。可愛いですよ、蜜蜂は。今飼育している蜜蜂は日本蜜蜂といって、東洋蜜蜂の亜種で日本固有の蜜蜂です。和蜂とも言います。在来蜂なので病害虫に対する強い免疫を持ちますが、アカリダニという外来ダニの寄生によって被害を受けることがあります。

地域の気候風土にあった暮らし方があるように、動植物も地域の原種に近いものほど強い生命力を発揮しますよね。新しいことを導入するのもよいのですが、まずは地域にあった生命活動に焦点を当てたいと思います。

様式についても同じことが言えます。スロヴェニアでは、1000人のうち4人の割合で養蜂家なのだそう

です。この地域の蜂は蜜の収集が上手なので、倉庫ほどの蜂小屋で省スペースかつ大規模に飼育します。ヒマラヤ山系では、断崖絶壁の岩肌に作られた1mもあるヒマラヤオオミツバチの巣を、命綱を垂らしながら狩猟的に採取します。これらの伝統作法は美しく圧巻ですが、日本蜜蜂には馴染みません。

上島町での養蜂について考えると、蜜蜂の生活圏はおおよそ半径2kmです。岩城島以外ではどこで飼育しても半分近くが海です。このような非効率な地形の中で最も大切なことが、蜜源栽植、つまり蜜源、花粉源を増やすこと。そして、距離をあけて少しずついろんな場所で飼うことです。

これから蜜蜂を増やすため、蜜源栽植で頭がいっぱいになりそうです。



蜜源となる金宝樹



島おこし協力隊
西尾 諭